

**2012年度の事業活動全般から排出されるCO₂をオフセットし、
カーボン・ニュートラルを達成しました**

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮 雅也）は、2012年度の事業活動全般において排出されたCO₂排出量を全量オフセットし、カーボン・ニュートラル[※]を達成しましたので、お知らせいたします。

この取組みは、2008年7月に発表した「カーボン・ニュートラル宣言」に基づいて実施したもので、通勤や物流も含めた企業活動全般に伴うCO₂排出量を包括的にニュートラル化するのは業界初となります。

※カーボン・ニュートラルとは

企業活動で排出されるCO₂排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行った上で、削減が困難な部分については、排出権を購入（カーボン・オフセット）するなどしてCO₂排出量を埋め合わせる（ゼロにする）行為のことです。

対象範囲	日本興亜損害保険株式会社
対象期間	2012年4月1日～2013年3月31日
対象活動	スコープ1: 都市ガス、LPガス、灯油、重油、社有車使用による排出 スコープ2: 電気、熱の利用による排出 スコープ3: 交通機関の利用、紙の使用、印刷、宿泊、物流、社外施設の利用に伴う排出および連結会社（海外を含む）のエネルギー利用による排出
2012年度CO ₂ 排出量	46,964 t-CO ₂
オフセット量	50,000 t-CO ₂

なお、本取組みに関する信頼性向上のため、環境省がJISQ14064規格群に準拠して策定した「カーボン・オフセット第三者認証基準」に基づく「カーボン・ニュートラル認証」を取得する予定です。

◆カーボン・ニュートラルを目指した目的・背景

地球温暖化が進行することで、自然災害の増加や水・食糧問題、健康被害など我々の生活に深刻な影響を及ぼすと言われております。また、自然災害の増加は、保険会社にとってお支払いする保険金の増加、それに伴う保険料の上昇といった影響を及ぼしかねません。

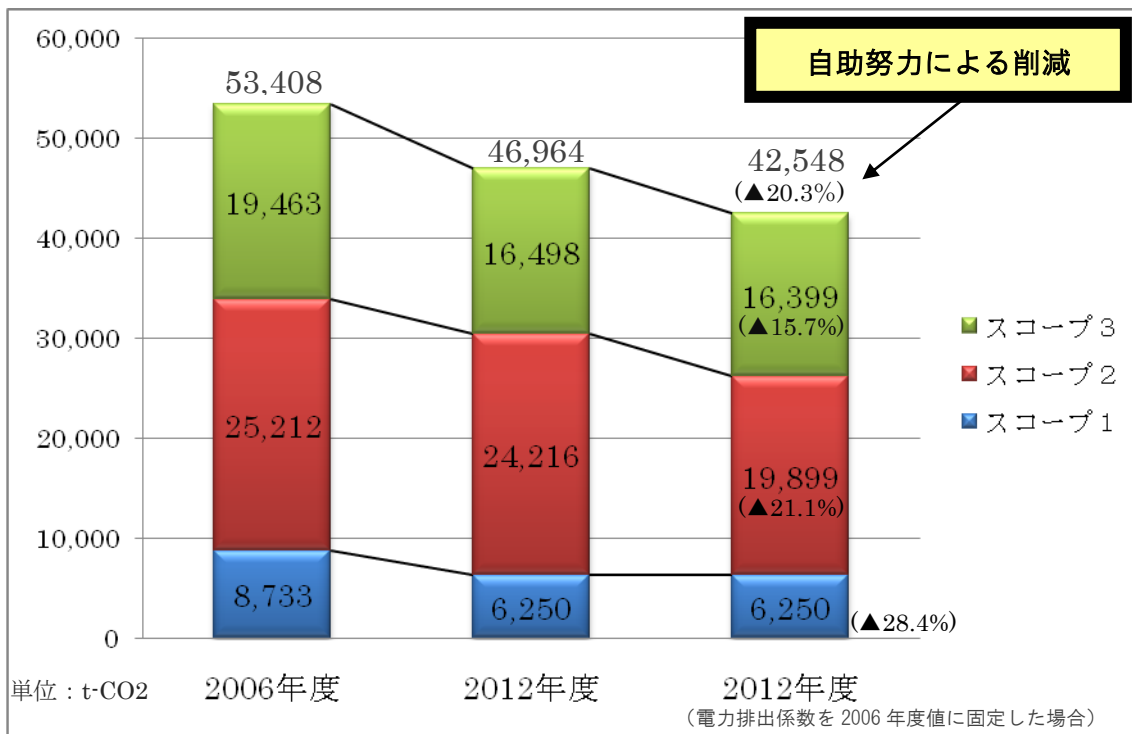
弊社では、このような事態を回避し保険商品を安定して提供するという社会的使命を果たすため、率先して地球温暖化防止に取り組むべきと考え、2012年度までにカーボン・ニュートラル化を目指す「カーボン・ニュートラル宣言」を2008年7月に発表しました。

2014年9月に合併して誕生する「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」においても、引き続きカーボン・ニュートラル化を目指し、低炭素社会の実現に向け率先して取り組んでいきます。

【スコープ別 CO₂ 排出量と削減の実績（2006 年度比）】

2012 年度の CO₂ 排出量は 46,964 t-CO₂ となりましたが、これは原子力発電所の停止による影響を大きく受けた直近の電力排出計数を用いて算出したものです。

この影響を除いた 2012 年度の CO₂ 排出量（電力排出係数を 2006 年度値に固定して算出）は 42,548 t-CO₂、自助努力による実質的な削減率は 20.3% となり、カーボン・ニュートラル宣言の際に定めた目標（20%削減）を達成することができました。



以上

【ご参考】 オフセットに用いたクレジット

クレジットの種類	プロジェクトの概要	オフセット量 (t-CO ₂)
CER	インド北西部での風力発電プロジェクト 他 5 件	39,000
国内クレジット	北海道での木質バイオマスボイラの新設プロジェクト 他 6 件	10,000
J-VER	岩手県沿岸地域での震災がれき再資源化による復興プロジェクト 他 2 件	1,000
	合計	50,000

